

郷土の伝統芸能・伝統文化



ひろしま夜神楽

ひろしまの神楽

神楽は、秋の収穫を終え、豊かな実りを授けてくれた八百万の神々と先祖の魂をお迎えして奉納する農耕儀式で、今でも全国的に様々な「形」で保存伝承されています。広島県の北は、島根県石見地方から約150年前に伝わった石見(いわみ)系神楽として知られています。特長は、儀式舞いに加え神話や歴史上の人物を神格化して娯楽性の高い演目に仕上げている点です。戦後、「能や歌舞伎」などの物語を神格化して、演目を増やすと共に芸術性を高め、更に近年は舞台効果を加え「舞台芸術」として評価されるようになりました。全国でも唯一、独自の文化を持った郷土芸能が現在「広島神楽」と言われはじめたのです。

あさひが丘神楽団「戻り橋」

●上演日/出演神楽団/演目

令和6年 **11月14日** **木**

あさひが丘神楽団 〔広島市 安佐北区〕
「戻り橋(前編)」 「土蜘蛛」

●時間

18:00 開場、**19:00** 開演
21:00 頃終了予定

※状況により開場時間を変更する場合があります。
※上演後、神楽の衣装体験・写真撮影を実施します。

●場所

**エディオン
ピースウイング広島**
(広島市中区基町15-2-1)

※会場の入退場口は裏面に記載しております。

入場料

2,500円 (税込・自由席・手数料別)

※購入方法や注意事項については裏面をご参照ください。

詳細は裏面の2次元バーコードからご確認ください。



©S.F.C

【主催】ひろしま神楽振興推進実行委員会〔構成団体〕広島市、広島商工会議所、(一社)広島県観光連盟、(公財)広島観光コンベンションビューロー

【協力】広島市神楽振興連絡協議会